

まえがき

本書はアジア経済研究所地域研究部が1995年度に実施した研究会「現代南アジアの国際関係の展望」の成果である。周知のように1989年の冷戦構造の終焉、そして91年のソ連の崩壊以降のグローバルな国際関係の変化には著しいものがある。そのようなグローバルなレベルの変動の余波は南アジア地域にも確実に及んでおり、南アジア各国は外交政策の変更に直面せざるをえなくなっている。編者の当初の意図は、南アジア固有の国際関係の構造、およびその変動を、そのようなグローバルなレベルでの変動との関係において分析していきたいというものであった。1980年代以降の南アジアの国際関係を主な対象とする各論文が全体としてこのような大きな目標にどれだけ接近しているかは読者の判断にまつほかない。インド・パキスタン関係など重要なトピックにもかかわらず本格的に論じることができなかった論点もあり、本論文集のカバーする範囲とはいえないが、90年代以降のこの地域の国際関係を展望するうえで何らかの手がかりを読者に提示することに成功していれば編者の意図の一定部分は達成されたといってよい。

本書を編集するうえで本研究所の南アジア研究者諸氏の批判・意見を仰ぐことができ、各論文の改善はもとより編集全体の整理に大いに参考になった。また広報部編集第一課、アジア経済出版会には全面的にサポートしていただき、編者の至らない細部を完全な形にいただいた。ここで改めて謝意を表したい。

1997年1月

編者